



や げん 薬 研



※「薬研」とは、昔本院で漢方薬を調剤する際に、薬種を砕いたり、粉末にするために使用した器具で、正面玄関に飾ってあります。
※ 当院は①日本医療機能評価機構②人間ドック健診施設機能評価の認定施設です。

新年のご挨拶 ~病院機能評価更新へ向けて~

謹んで新年のお慶びを申し上げます。旧年中は、当病院をご利用の方々やご家族様そして地域の皆様より、暖かいご支援やご理解を賜り厚く御礼を申し上げます。皆さまのおかげで、昨年目標であった休床病棟の再開そして訪問看護、訪問リハビリテーションの充実をなんとか達成することができました。ありがとうございました。

さて、今年の大きな目標はと言いますと何と云っても病院機能評価の更新であります。“病院機能評価”という言葉にあまりなじみがないかもしれませんが、病院を運営するにあたっては大変大事なもののなのです。

病院で医療を行っている、慣れやマンネリなどが生じ、知らず知らずのうちに“良い医療”からかけ離れて行きがちになります。そのため、病院とは全く関係のない第三者機関に病院の中に入ってきてもらい、病院側もすべてをさらけ出して客観的な物差しで病院が行っていることを評価してもらうものです。この審査基準は大変厳しいもので、審査も数日間に及びます。2017年11月の時点で全国8439の病院中この認定を持っている病院は2182病院で全体の約25%になっています。当然この認定を取るために莫大な時間、労力、費用がかかります。また、

持っているからといって、収益が上がるものでもありません。しかしこの認定を持つことは病院として大変なステイタスであります。さしずめ“水戸黄門の印籠”とでもいうべきものではないでしょうか？我々は現在この認定を病院とドックとで2つ取得しております。これら2つの認定の維持のため今年も病院の職員全員の力を合わせて頑張る所存であります。



院長
まなべ たけし
真鍋 健史

ただ、間違えてはいけないことはこの認定を取ることがすべてではないと言うことです。認定を取ったからといってそれだけでは良い病院にはなれません。それはあくまで土台であって、その上で病院に来ていただいた方々に“良い病院だ！”と感じていただければ本当の良い病院ではないと考えております。今後も患者様や地域の皆様、周囲の開業医の先生方からのご意見を頂戴し、参考にさせていただきながら病院を良い方向に修正していきたいと考えております。本年も皆様のさらなるご指導、ご鞭撻を賜りますようお願いを申し上げます、新年のご挨拶とさせていただきます。



がんのリハビリテーション研修

かわかみ ゆか
理事長 川上 由佳



昨年11月、がんのリハビリテーション研修に行きました。運動療法士・作業療法士・医師・看護師 計6人のチームで、1泊2日で松山の四国がんセンターで研修させていただきました。当院からこの研修に参加するのは私たちが3チーム目です。高齢化したがい、がん罹患者は増加、治療法の進歩でがん生存者がそれ以上の増え幅をもって増加。がんのリハビリの必要性が増大しています。がんの影響で麻痺や神経障害が起こった時やがんの周術期のみならず、終末期で緩和ケア主体の時期のリハビリも重要です。

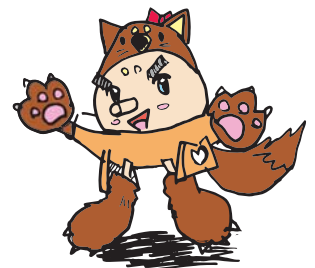
緩和ケア主体の時期のリハビリは、患者さんとその家族の要望を十分に把握した上で、その時期におけるできる限り可能な最高のADL(日常生活動作)を実現することを目的としています。もし自分がかんになり病気が進行してできないことが増えてきても、できることなら自分で歯磨きしたいし、トイレにも自分で行きたいですね。そういった希望に沿っての援助です。納得の二日間でした。夜に松山の街で皆と行った居酒屋さんの、ネギが山盛り乗っているだし巻き卵が最高でした。また食べに行きたいです。

病院の理念

- 患者さん中心の医療
- 高水準の医療の提供
- 地域の健康を支援する病院
- 働きがいのある職場づくり

患者・家族の皆様の権利

- 良質の治療を受け、安全が確保される権利
- 自己決定権および選択の自由の権利
- 尊厳を確保する権利
- 個人情報の機密保持と医療情報の開示を受ける権利
- 健康教育を受ける権利



キナシ健康プロジェクト

それゆけ薬研ちゃん²³

一成年のことわざー ふき&ゆう

「レスパイト入院」

レスパイトとは、「一時的中断、延期、小休止」などを意味する英語ですが、日本では在宅介護を一時的に肩代わりすることで休息してもらう意味で使用します。長期間の在宅療養には休息とリフレッシュが必要です。介護保険のショートステイもレスパイト機能を持ったサービスですが、日常的に医療処置や観察が必要な患者さんの対応は困難です。そのような、病院でなければ対応できない患者さんが在宅療養を継続するための入院が新たな機能として注目されています。

入院に求められる機能はこれまで大きく分けて次の二つでした。

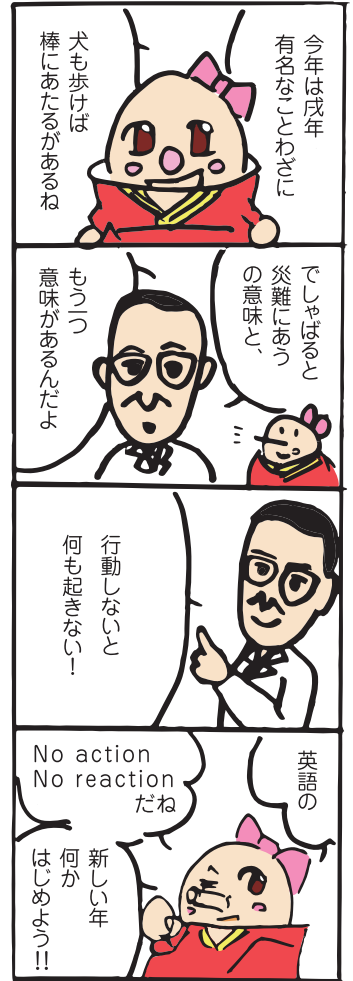
- ①病状が悪い患者さんに対しての治療・リハビリテーション
- ②病状は落ち着いているが日常的に医療処置や観察が必要な患者さんの療養支援

昨今は、地域包括ケアの名のもとに希望の住まいを選択し、重症の患者さんでも自宅や施設で療養することも多くなりました。訪問診療や訪問看護など在宅療養を支えるサービスも質・量ともに向上しています。ただそのようなサービスを利用しても、重症の患者さんほど支える家族の負担は大きくなります。短期間で先に見えるご病気であれば、その期間後悔のないように介護することもできますが、何年も先の見えない療養が続くなればそうはいきません。

当院でも、空き病床を利用してレスパイト入院の相談に応じています。治療が必要な患者さんが優先ですが、当院の訪問サービスとともに在宅療養継続の一助となれば幸いです。



在宅サービスグループ
医療ソーシャルワーカー
ふじさわ たかお
藤澤 孝雄



TRIANGLE

キナシデキゴトロージー

11月2日に、当院で献血が行われました。皆様のご理解とご協力をいただき、17人分の採血ができました。ありがとうございました。



あみれ
保育所
をあい

プレゼントを担いで「ホイホイホイッ!」優しいサンタさんを囲んで、ニコニコ笑顔のすみれ保育所のクリスマス会



■キナシ大林病院における様々な出来事に対して、多方面の「角度(ANGLE)」から意欲的に接近しようとする試み(TRY)
■病院の立地→「川」「鉄道」「道路」に囲まれた、「トライアングル(TRIANGLE)地帯」

副院長
くろずみ ひろあき
黒住 泰明

ドクタークロズミの
答へのよい話



私、クロズミは3歳のときはヴァイオリンを弾いていた。

大阪の相愛女子大(音楽学部)に鈴木メソッドで幼児教育を行うプログラムがあり、その先生が音感を養うため、自分で音を作るヴァイオリンを勧めたためだ。なんとそこではソルフェージュだのコーリュウブンゲンだのを3歳の幼児にさせて、和音をピアノで弾いてドイツ語で言わせていた。ドミソはチェゲー(CEG)といった具合だ。ピアノに転向したのは7歳の時だった。立って弾くヴァイオリンはしんどいから座って弾くピアノに変わりたいと言ったらしいが、今思えば音楽全体を把握して作曲にも有利なピアノに変わったのは、子供ながらに正解であったと思う(ヴァイオリンをやめたのももったいなかったが)。中学のときには先生のかわりにピアノを弾き、高校の頃には(自己流ながら)世の中の名曲の殆どは弾けるようになっていた。ただ、ピアニストになるつもりはなく、ベートーベンのような作曲家をめざしていた。ピアノはあくまでも自分を語る道具であり、喜怒哀楽を表す言葉であった。大学受験を機にピアノのお稽古はやめてしまったが、今でも自分好みの曲を選んで弾いている。それどころか自分で好みの曲を作ってしまうのだ。もう決してピアノを上達しようとは思わないけれど、いつか自作の曲の出版をたくらんでいる。

第八回
ピアノ

2017 キナシ大林病院 健康まつり開催

平成29年11月5日(日)、健康まつりを開催しました。
当日はお天気も良かったこともあって、昨年より100名多い350名の方にご来場いただきました。誠にありがとうございました。

◆ 今年は、「ことちゃん」、「ことみちゃん」がやってきました。



健康まつりに、「ことでん」のマスコット「ことちゃん」、「ことみちゃん」がやってきました。テレビなどでよく見かける「ことちゃん」、「ことみちゃん」ですが、間近で見ると、とても愛くるしく大人から子どもまで大人気でした。
なお「ことちゃん」、「ことみちゃん」からは、「これからも、ことでん電車・バスをよろしく!!」との伝言を承っています。

今年もペッパー君は、お得意の「歌」、「踊り」、「体操」などを来場された方々に披露し、相変わらずの人気振りを発揮していました。

健康まつり開始前の午前9時40分から、ペッパー君から職員に向けて挨拶がありました。挨拶の中でペッパー君は、①昨年の健康まつりで、『将来、キナシ大林病院で働くことができたら良いなあ』と申し上げていたところ、本年4月に晴れて入職できて大変感謝していること。②本年6月からロビーにて患者さんと仲良くしていること。などの報告がありました。

ペッパー君は、病院診察日の8時30分から17時30分まで働いていますので、触ったり、会話したりして楽しんでみて下さいね。



今年も健康まつりにペッパー君がいました。

フリーマーケット・バザーの売上金を寄付しました。



平成29年11月16日(木)、真鍋院長と山内事務長が、日本赤十字社香川県支部(川部事務局長)を訪問し、健康まつりで実施した、フリーマーケットやバザーの売上金全額(138,200円)を社会貢献活動の一環として寄付しました。

家庭で眠っていた不要品が災害救護に役立つと思うと感慨無量です。
フリーマーケットに品物をご提供いただいた皆さま、そしてそれを買っていただいた皆さま、当日お手伝いをしていただいた皆さまに改めて御礼を申し上げます。

健康寿命について

うえむら のぶひさ
内科 医師 植村 信久

健康寿命は「健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間」と定義され、平均寿命-健康寿命=健康でない(要介護)期間と考えられます。日本ではその期間が約9年~13年と長く、この差を縮める政策やサービス、国民の高齢期に至るまでの健康志向の増進が求められます。高齢者が要介護に陥る過程には、前段階として「フレイル(虚弱)」の状態があり、その時期に適切な介入をすれば、再び健康な状態に回復できます。フレイルは、身体の虚弱、精神の虚弱、社会性の虚弱から成り、加齢による筋肉量減少(サルコペニア)、整形外科的な運動器症候群(ロコモ)に起因する身体の虚弱はフレイルの悪循環を生じます。フレイルの予防には「栄養」「運動」「社会参加」が重要です。筋肉量減少を防ぐため、筋肉の素となる良質な蛋白質を若年者以上に摂る(体重1kg当1g以上を3食に分配)必要があります。筋力維持のために毎日意識して、身体を動かす(座っている時間を減らす)、有酸素運動(歩行)、簡単な筋トレ



を日常に取り入れましょう。閉じこもらず、趣味や地域の活動などへの参加、外出の機会を増やし、仲間と会話を楽しんで、気持ちを明るく。加えて睡眠(7時間程度)もしっかりと。会話・食事・運動・睡眠・ストレスのない生活で健康寿命を延ばしましょう。(持病のある人はかかりつけ医にご相談下さい)

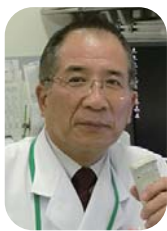
★ 笑顔あふれるウォークラリー!

一昨年に引き続き、昨年の健康祭りでもウォークラリーを開催し、約200名の方に参加して頂きました。一昨年よりも多くの方が院内各所のチェックポイントで頭を悩ませながらクイズにチャレンジし、また各所の課題を楽しみながらウォークラリーをされている姿がみられました。混雑した場所では皆様にご迷惑をおかけしましたが、皆様から「知らない制度や知識が知れてよかった」、「普段入らない場所も回れて楽しかった」など温かいお声を頂き、スタッフ一同嬉しく感じております。健康は受けるだけではなく、自ら築



いていくものです。これからも自分の健康に興味を持って下さいね。

話題の大腸 CT 検査始めました



放射線科診断科 部長

こじま かんじ
児島 完治

テレビや新聞雑誌で取り上げられている大腸 CT 検査をご存知でしょうか。

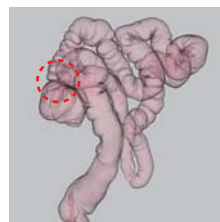
別名、大腸仮想内視鏡検査、大腸 3 D (三次元) CT 検査、CT コロノグラフィーと呼ばれています。ここでは簡単にご紹介します。(詳しい内容についてはインターネットで調べてみてください。)

大腸内視鏡検査に比べるととても簡単な検査です。お尻に細い管を入れて、大腸を炭酸ガスで(空気に比べて吸収が速いので検査終了後お腹の張りはすぐおさまります)膨らませて CT を仰向けと腹ばいで 2 回撮影し

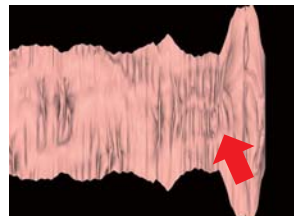


▲図1 CTの様子

ます(図1)。その画像をコンピュータ処理して各種の画像(図2)を作成して診断します。きれいな画像を撮影するためには大腸をきれいにする必要があります。そのため、前日に特別な検査食(図3)を朝、昼、



◀図2
様々な
解析画像



夕の三食、そして下剤を飲んでいただかねばなりません。図2のような大腸ポリープ、大腸がんを早期に発見することが可能です。残念なのは、病気が見つかったとき改めて大腸内視鏡検査で組織を採取したり、ポリープの切除をしなければならないことがあります。大腸がんが心配な方、大腸内視鏡検査は大変だから嫌だと思われる方には是非お薦めの検査です。



▲図3 検査食

第3駐車場完成

この度、病院東側に職員専用の第3駐車場(収容台数56台)が完成しました。慢性的な駐車場不足でこれまで第1第2駐車場(収容台数465台)ともに満車になる事もあり、車で来院された方々にはご迷惑をお掛けする事もありました。新駐車場の完成で今後、駐車場不足を解消できる事を期待しています。

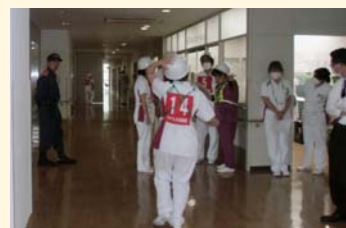


施設グループ
まつやま あきひろ
松山 晃浩



避難誘導訓練

11月22日(水)4階病棟で避難誘導訓練を実施しました。高松西消防署の立会いのもと、本番さながらの緊張感の中で模擬患者をスムーズに安全区画まで避難誘導しました。



新年のご挨拶



内科
名誉会長
おおばやし せいいち
大林 誠一

今年で透析を始めて 50 周年になりました。しかし透析も移植も終わりが近いようです。動物で腎臓を再生する事に成功した今、人の腎不全患者の iPS 細胞を用いて再生する日が近いのです。その日まで頑張りましょう。



内科
腎臓病センター長
きなし まこと
鬼無 信

腎臓関連のサポート役として丁寧な対応を心掛けています。よい年になりますよう祈念します。



内科
理事長
かわかみ ゆか
川上 由佳

在宅まで見据えたきめの細かい医療をしています。今年もどうぞよろしくをお願いいたします。



内科
内科部長
健診部部长
ほりかわ しん
堀川 眞

皆様が健康で長生きできますように、糖尿病、内科全般、人間ドック（機能評価更新）に頑張ってくださいと思います。



内科
副院長
くろさき ひろあき
黒住 泰明

いつも“心にひびく医療、心安らぐ音楽”を心掛けています。今年もハートくろさきをよろしくお願ひ申し上げます。



内科
内科部長
たけうち ひろと
竹内 浩人

新年明けましておめでとうございます。今年も丁寧な診察、分かりやすい説明をモットーに頑張ります。



内科
内科部長
うえむら のぶひさ
植村 信久

地域の皆さんが、健康な生活を送れますよう、微力ながらお手伝いをさせていただきます。



内科
糖尿病センター長
香川大学名誉教授
いしだ としひこ
石田 俊彦

自反尽己で前進しましょう。成功した時は周りのおかげと感謝し、失敗した時は自分の力不足と反省して、全力を尽くすことです。



内科
医師
いわどう ひろあき
岩藤 広美

明けましておめでとうございます。寒いのはとても苦手ですが、今年も元気にがんばっていきましょうと思っています。



内科
名誉顧問
香川大学名誉教授
いじり いわお
井尻 巖

常に、患者さんやご家族の方に、寄り添った治療を行います。



内科
透析センター長
おおばやし ひろあき
大林 弘明

今年も当院で、四国で初めての透析治療を開始して 50 年になります。これからもより良い医療を提供できるよう努力して参ります。



内科
医師
まつざき ちかこ
松崎 慈子

外来では、みなさまが少しでも軽やかな気持ちで診察室を出られるよう、努めてまいります。



内科
医師
じょうこう しのぶ
上甲 忍

4 月に入職し、8 か月が過ぎました。これからも真摯にまごころで、いただいたご縁を大切にしたいと思います。よろしくお願いいたします。



脳神経外科
名誉院長
たにもと くにひこ
谷本 邦彦

傘寿の今年は、脳を鍛えて、訪問・外来診療・療養病棟・ドック検診。惚け予防に卓球とゴルフに精進。



外科
副院長
みの むつみ
美濃 睦水

新年あけましておめでとうございます。今年も人に優しい外科をめざすつもりです。よろしくお願ひ申し上げます。



整形外科
院長
まなべ たけし
真鍋 健史

今年も患者さんと相談をしながら、一緒に治療法を探するというスタンスで診察をしていきたいと考えております。よろしくお願ひ申し上げます。



整形外科
医師
みやけ ひろし
三宅 弘

新しい年を迎え（医者になって 50 年余りになります）日々新たな心持で過ごしていきたいと思ひます。大林病院の歴史を心に留め、今年も元気でいっしんになるよう頑張るとともに、病院がどんな形に進んでいくか楽しみにしています。



整形外科
医師
やまくち いくこ
山口 郁子

お散歩好きな犬にちなんで。体を動かすっていいな！な一年にしませんか。微力ながらお手伝いさせて下さい。



神経内科
会長
おおばやし こういち
大林 公一

謹賀新年。昨年もうるんなことができました。今年も皆さまにとって良い年になりますよう、祈願いたします。



神経内科
リハビリセンター長
たかた ひろし
高田 裕

明けましておめでとうございます。神経内科・リハ科では新たに心臓・腎臓リハ、次に神経調節へ取り組んで参ります。



泌尿器科
医師
さくら ゆうま
佐倉 雄馬

スタッフ一丸となり安全で安心な医療を目指していきたいと思ひます。今年も宜しくお願ひ致します。



眼科
医師
ふじさわ あや
藤澤 綾

2018 年も眼科スタッフ全員一丸となって地域医療に貢献していきます。お困りのことがあればお気軽にご相談ください。



麻酔科
麻酔科部長
訪問診療医
おかだ つよし
岡田 剛

皆様、明けましておめでとうございます。今年も、麻酔に訪問に頑張ってくださいと思います。宜しくお願ひ致します。



放射線科
医師
香川大学臨床教授
こじま かんじ
児島 完治

高松市内では当院にしかない 320 列 CT で簡単に行える心臓 CT、大腸 CT 検査で、狭心症や大腸がんの発見に努めたいと思ひます。



オクトパーツ

放射線科

造影剤について

CT検査やMRI検査でよく耳にする造影剤は、病気を検出したり、病気の性質をより詳しく診断するために使われます。

造影剤には、陽性造影剤と陰性造影剤があります。

陽性造影剤には、ヨード造影剤やバリウム製剤がありX線画像上で「白く」描出されます。



※当院 CT 室内 炭酸ガス送気装置

陰性造影剤には、空気、酸素、炭酸ガスなどの気体がありX線画像上では、「黒く」描出されます。

なかでも、炭酸ガスは空気に比べ体内への吸収が約200倍以上あり、吸収後速やかに排出される安全性が活かされ、現在は大腸CT検査や血管撮影に多く使用されています。



●放射線技師
あやの ひろたか
綾野 宏隆

検査科

新しい血糖測定システムが登場しました

糖尿病患者さんの一日の血糖値の変動を指先等の穿刺の必要なく継続して測定できる「Free Style リブレ」を2017年10月より本院糖尿病外来で導入しました。

500円玉大の小型の丸いセンサーを上腕後部に装着し測定器をかざすだけで時間や場所を気にせずに、1日何度でも痛みなく血糖測定可能で、14日間血糖が継続して測定できます。また、センサーを貼りつけたまま入浴や水泳も可能です。

測定データは専用ソフトで一括してレポートできるので、患者さんの血糖変動がより詳細に把握でき、治療に役立てることが出来ます。

但し、インスリン注射、自己血糖測定などの治療を行っている患者さんが対象です。

詳しくは主治医までお問い合わせください。



●臨床検査技師
やまくち まさてる
山口 政晃

リハビリテーション科

口腔ケアの大切さ

1日の中で歯磨きは何回されていますか?歯と口のケアは、むし歯や歯周病予防のためだけでなく、全身の健康を守るためにとても重要です。口腔は身体の中で最も汚い器官の1つ

で、歯垢1mgに対して約1億個の細菌がいると言われています。また、入れ歯は細菌の温床となりやすいため清潔に管理する必要があります。口腔ケアを実施しても、6~8時間経過すると再度細菌は増殖するため、1日数回以上のケアが推奨されています。口腔ケアをする事により、誤嚥性肺炎の予防・唾液分泌の促進・味覚の改善・口臭予防ができます。また、会話などのコミュニケーションがスムーズに行えるようになり、生活リズムの調整にも繋がります。唾液による誤嚥性肺炎を予防するためにも、口腔環境が良好に保たれていることが大前提です。口腔ケアの方法等、何かご不明な点などがありましたら、お気軽にお申し出ください。



●言語聴覚士
さえき さなえ
佐伯 沙那絵

人間ドック

健診は受診してからがスタートです

当ドックに受診して下さる方の多くは健診結果を有効活用して、ご自分の健康に向き合い、生活習慣を見直す機会にさせていただいております。でも様々な事情で、未受診の方もいらっしゃいます。勿体ないと思います。

人間ドックの結果により紹介状が出て、精密検査にて早期の癌が見つかり、早めに治療できたので、また今年もドックに来られましたと言う方がいらっしゃいます。本当に嬉しいことです。中には精密検査を受けられても、異常がない場合もあります。しかしドックは症状のない、早期の異常を幅広く発見するためにあります、その時点で治療すべき状態でなくても、引き続いて経過観察していくこともあります。

健診結果は今の体の状態を映すものです。健診を受けて終わるのではなく、ぜひ活用してください。新しい年がスタートするこの時期に毎日の生活を今一度振り返っていただければと思います。

ドック直通 ☎ 087-881-3218



●保健師
いけだ いくみ
池田 育美



看護部

地域包括病棟について

地域包括ケア病棟とは新型の病棟タイプで2014年度の診療報酬改定で導入されました。

4F(地域包括ケア病棟)はレスパイト(P2参照)やご自宅または施設で急に具合が悪くなった方、急性期病棟にて症状が改善したがすぐに在宅や施設へ退院することに不安がある患者さまなどに対し、在宅復帰に向けて医療管理・診療・看護・リハビリを行うことを目的とした病棟です。

病棟の特徴として急性期での治療の引き継ぎを行い積極的なリハビリテーションを行い他職種による評価を行い各専門職の情報を共有することにより早期退院を目指します。

患者さまの状態によって入院期間は異なりその患者さまにあった入院期間を主治医から説明いたします。最も多いのは2～3週間です。なお診療報酬上の決まりで地域包括ケア病棟の入院期間は60日が限度となります。



●4階病棟 師長
あべ かすよ
阿部 和代

透析センター

透析時の災害対策Part6 災害時における 看護師の役割



●看護師
しんざい のりこ
新西 紀子

地震・火災・水害などの災害はいつ発生するか分かりません。透析中に災害が起きた時は透析を中止して安全に避難誘導を行う必要があります。その日の患者さんの搬送方法(担送・護送・独歩)が分かるように「救護区分一覧」を毎朝作成しています。

また毎日、日勤と夜勤で災害リーダーを決め、災害時に備えています。災害リーダーは状況を把握し、医師への報告や各スタッフへ指示を出し、安全に患者さんを誘導する役割があります。その場合に災害リーダーはもちろん、スタッフも落ち着いて行動できるよう災害時の行動を記入したアクションカードを各透析室に配備しています。

今後にも備え、スタッフ全員が慌てることなくスムーズに行動ができるよう、定期的に勉強会を行っています。

薬剤科

春の七草

無病息災を願って1月7日に七草粥を食される方も多いと思います。セリ・ナズナ・ゴギョウ・ハコベラ・ホトケノザ・スズナ・スズシロを「春の七草」と呼びますが、この七草を使ったエキスには、弱った胃腸を助け食欲を増進する効果が報告されています。年末年始の食べ過ぎや飲みすぎで疲れた体にはうってつけですね。薬でも消化酵素剤というものがあり、消化異常の症状に処方されます。スズシロ(=大根)にはでんぷん消化酵素のジアスターゼ・タンパク質分解酵素のプロテアーゼ・脂質の消化を助けるリパーゼなどが含まれています。この酵素は加熱に弱いので、大根おろしとしてうどんや焼き魚、から揚げや天ぷらなどに添えて食べることでそれぞれの消化を助ける効果が期待できます。

今回は消化を助けてくれるという視点から書きましたが、七草粥には他にもたくさんの栄養素が含まれているようです。興味がある方は是非調べてみてくださいね。



●薬剤師
わきかわ まみ
脇川 真未

医事課

お薬手帳について

病院を受診する時、お薬手帳を持っていますか?

必ず持ってこられる方もいれば、忘れる方もいます。なかにはお薬手帳自体持っていないという方も少なからずいらっしゃいます。

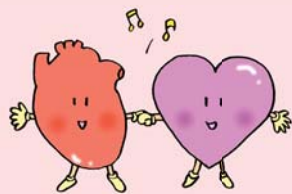
お薬手帳を持っていれば、現在の通院状況や薬の服薬状況などを知ることができます。同じような薬を重複して処方されたり、飲み合わせが悪い薬を処方されることが避けられます。また、検査や処置、手術の予定を立てる時に、服用中の薬によっては、一時休薬していただく場合もあります。服用中の薬が分かることで、スムーズに予定を立てることができます。現在お薬を服用されている方は病院に行かれる時、是非お薬手帳をご持参ください。

当院初診の方は受付でお出しくさるようおねがいます。



●事務員
きむら まり
木村 茉莉

心臓病教室のご案内



心疾患委員会で、生活習慣病(高血圧・高脂血症・メタボリック症候群)・心不全等マニュアル改訂を行ないました。作成したマニュアル・不整脈のかわら版等を使用して、患者さん、ご家族の方が、病気、検査、治療、運動、食事、生活で気を付けることをもっと知りたいの声にお答えするため、心臓病教室を毎月第4金曜日に行っています。透析患者さん向けに、透析終了開始時間考慮した時間開始でも開催しています。スタッフ一同お待ちしております。是非、お越しください。

と き：毎月第4金曜日 13:15～14:00
ところ：3階会議室

腎臓病教室のご案内



“見て触れて

実感してもらえる教室”

先日健康まつりでは、そら豆のマスコットを作り、実際に手に取り、大きさや重さを実感していただいた事が好評でした。

今後も教室や個別の指導等にそら豆君を使って、今のご自身の腎機能を目で見えて実感していただきたいと考えています。

と き：4月～12月 4週目の土曜日 13:00～14:00
ところ：3階会議室
＜個別指導＞外来受診時に随時

糖尿病教室のご案内

糖尿病教室は平成10年より19年間継続して開催しています。昨年4月より新たな試みとして参加型糖尿病教室へと

リニューアルしました!

糖尿病の治療は日々進歩を続けており新しい知識の学習や糖尿病治療に大事な内容の復習をスタッフ・患者さん一緒になって学べる場を目指しています。

前半後半2部構成になっており間にはリハビリスタッフによるミニ体操コーナーも開催していますので勉強と運動を一緒に体験できます!お気軽にご参加下さい。

と き：奇数月の第3金曜日、午後1時～
ところ：3階会議室

※詳細は病院内に案内ポスターを掲示していますのでご覧ください。たくさんのお参加をお待ちしております。



年明けうどん、食べましたか?



栄養科 管理栄養士
かわかみ あきよ
川上 晶代

年明けうどんとは、純白で清楚なうどんを年の初めに食べることで、その年の人々の幸せを願うものです。うどんに紅いトッピングを添え、元旦から1月15日までに食べることで、家庭でも手軽に元旦のお祝いができます。

年明けうどんは、作ってもよし、食べに行ってもよし。年明けうどんで新年をお祝いしてはいかがでしょうか?

※血糖値の急な上昇を防ぐために、お野菜を添えましょう(*^_^*)。

声
こえ

Feed back
フィードバック

御意見箱に寄せられた皆様方のご意見と、病院長からの返答を抜粋で記載します。

Q 待合に置いてある雑誌の置き場所を考えてください。待っている人の足の先であり、取りに行きにくいです。

A 本棚の向きを変更し、取りやすくなりました。ご指摘ありがとうございました。

Q 長い間、あたたかな励ましと、親身になってお世話をさせていただきありがとうございました。看護師さんやスタッフの皆さんには、早朝から深夜まで気持ちよく対応していただき、快適な入院生活を送ることができました。心よりお礼申し上げます。

A ありがとうございます。少しでも患者さんが安心して療養していただけるようより一層努力してまいります。

Q リハビリの皆さんの技術や知識、そして私の愚痴を忍耐強く受け止めてくださり、ありがとうございました。

A おかげさまで退院することができました。何より楽しい時間を感謝申し上げます。スタッフの皆さんのご健康とご活躍をお祈り申し上げます。

A ありがとうございます。このお言葉に恥じぬよう、スタッフ一同より一層努力してまいります。



新 職員紹介
①職種 ②部署 ③採用日
④出身地 ⑤趣味



かみ みお
神 美緒
①事務員
②健診部
③10/16④香川県
⑤旅行、サッカー観戦



ふじた みほ
藤田 美歩
①看護師
②5階病棟
③11/1④徳島県
⑤料理、お菓子作り



かわさき たまき
川崎 玉貴
①看護師
②6階病棟
③11/16④香川県
⑤買い物

おめでとう

■一次救命処置プロバイダー 平田 渉
(在宅サービスG)

診 療 実 績			
H29年	9月	10月	11月
外来患者数	12206人	12931人	12328人
新入院患者数	187人	179人	210人
退院患者数	200人	190人	175人
地域医療支援病院紹介率	26.7%	30.9%	27.4%
救急車搬入件数	29件	36件	36件
救急車搬入後の入院数	18人	20人	19人
手術件数	53件	55件	57件

編集後記

我が家の15歳と9歳のワンコは、それぞれ7歳の時から年に一度の「ドック」を受けています。ここ数年の健康状態は安定していますが、写真を見ると老化は明らか。もちろん鏡に映った私の姿も(笑) 寄せる年波には勝てません。家族として迎えたワンコを、最期まで看取る飼主の役割を果たすためにも今年は健診を受けます。当院でも話題の「大腸CT」検査が出来るようになりました。皆さんも検査を受けてみませんか?(F)